

## 第2部

## 計画等の進捗状況

### 第1章 栃木県環境基本計画の進捗状況

本県においては、県の環境保全に関する基本目標と長期的な施策の方向を掲げた栃木県環境基本計画(令和3(2021)年3月策定)に基づき、県民、事業者及び市町の参加と協力のもと、「守り、育て、活かす、環境立県とちぎ」の実現に向け、4つの基本目標と17の指標を設定の上、取組を進めてきた。

令和5(2023)年度における本計画の達成状況について評価したところ、計画最終年度の目標を達成したもの(◎)が3指標、最新年度目標値を達成したもの(○)が6指標、目標は未達成だが、前年度より改善したもの(△)が4指標、目標が未達成で、前年度より改善していないもの(▲)が4指標あった。

なお、達成状況(◎と○の数)は、令和4(2022)年度と比較すると、若干改善している。

基本目標	指標数	達成状況			
		◎	○	△	▲
1 脱炭素社会の構築と気候変動への適応を目指す「とちぎ」	6	1(0)	4(4)	1(1)	0(1)
2 自立・分散型エネルギーで支えられる災害に強い「とちぎ」	2	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)
3 良好な生活環境が保全された「とちぎ」	6	2(2)	1(0)	1(3)	2(1)
4 人と自然が共生する「とちぎ」	3	0(1)	0(0)	2(2)	1(1)
計	17	3(2)	6(5)	4(6)	4(4)

※括弧内( )は、前年度の数値

#### 1 脱炭素社会の構築と気候変動への適応を目指す「とちぎ」

指標項目	設定値 R1(2019)	年度目標値/実績値/達成状況			目標値 R7(2025)
		R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	
①温室効果ガス排出削減率 <H25(2013)年度比>	8.8 [H29(2017)]	10.4	11.2	12.0	32.0
		[R1(2019)]	[R2(2020)]	[R3(2021)]	
		12.8	16.2	15.7	
		[R1(2019)]	[R2(2020)]	[R3(2021)]	
		○	○	○	
②エネルギー消費削減率(%) <H25(2013)年度比>	6.8 [H29(2017)]	10.5	12.3	14.1	21.4
		[R1(2019)]	[R2(2020)]	[R3(2021)]	
		10.0	13.6	14.1	
		[R1(2019)]	[R2(2020)]	[R3(2021)]	
		△	○	○	
③再エネ電力自給率(%)	21.2	22.8	30.7	32.5	35.2
		26.5	33.3	36.1	
		◎	○	◎	
④電動車新車購入率(%)	29.3	37.0	40.0	43.0	50.0
		31.1	36.7	43.2	
		△	△	○	

※ 表中の設定値及び年度目標値/実績値の[ ]内はその数値の年度データである。

指標項目	設定値 R 1 (2019)	年度目標値/実績値/達成状況			目標値 R 7 (2025)
		R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	
⑤再生可能エネルギー設備導入容量 (万kW)	262	284.6	321.0	347.0	380.0
		295.7	341.8	363.7	
		○	○	○	
⑥県内民有林の間伐面積 (ha/年)	3,254	3,500	3,500	3,500	3,500
		3,357	3,177	3,182	
		△	▲	△	

【目標が達成できなかった指標】

⑥県内民有林の間伐面積 (ha/年) 【R 5 目標値】 3,500ha → 【R 5 実績】 3,182ha

<現状・要因>

- ・前年度と比べて改善（増加）したものの、目標値には届かなかった。
- ・限られた労働力の中で、森林の維持管理のための間伐作業や木材生産の伐採及び造林（植栽、下草刈り等）を一体的に進めているとともに、年々加速化しているため。

<対策>

- ・R 6 開校の林業大学校を中核とした新たな林業人材の確保育成
- ・I C T等の先端技術を活用したスマート林業の推進による作業の効率化・生産性の向上

## 2 自立・分散型エネルギーで支えられる災害に強い「とちぎ」

指標項目	設定値 R 1 (2019)	年度目標値/実績値/達成状況			目標値 R 7 (2025)
		R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	
⑦電力自給率 (%)	40.3	73.0	76.0	79.0	85.0
		66.9	78.2	79.0	
		▲	○	○	
⑧地域電源供給拠点数(箇所) ※累計	0	10	20	30	50
		0	0	0	
		▲	▲	▲	

【目標が達成できなかった指標】

⑧地域電源供給拠点\*数(箇所) 【R 5 目標値】 累計30 → 【R 5 実績】 累計0

※発災時、避難所等で給電活動を行う栃木県災害時協力車（E V・P H V等）に対して優先的に充電する急速充電施設

<現状・要因>

- ・制度の周知に努めたものの登録申請に至る事業者がなかった。
- ・登録の対象を「太陽光発電施設を有するなど再エネ電気を供給できる事業者」とするなど限定的であった。

<対策>

- ・登録の対象者を、バイオマス発電や廃棄物発電などによる再エネ以外の電気を供給できる事業者にまで拡大

### 3 良好な生活環境が保全された「とちぎ」

指標項目	設定値 R 1 (2019)	年度目標値/実績値/達成状況			目標値 R 7 (2025)
		R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	
⑨大気環境基準(N <sub>2</sub> O <sub>2</sub> )達成率(%)	100	100	100	100	100
		100	100	100	
		◎	◎	◎	
⑩公共用水域の環境基準(BOD)達成率(%)	96.9	100	100	100	100
		100	100	98	
		◎	◎	▲	
⑪生活排水処理人口普及率(%)	87.7	89.6	90.5	89.8(注)	90.7
		88.8	89.3	89.9	
		△	△	○	
⑫県民1人1日当たりの生活系一般廃棄物の排出量(g)	672 [H30(2018)]	666	661	657	650
		[R 2 (2020)]	[R 3 (2021)]	[R 4 (2022)]	
		699	682	664	
		[R 2 (2020)]	[R 3 (2021)]	[R 4 (2022)]	
⑬県内で排出された一般廃棄物の最終処分量(千t)	57 [H30(2018)]	56	55	54	53
		[R 2 (2020)]	[R 3 (2021)]	[R 4 (2022)]	
		63	58	63	
		[R 2 (2020)]	[R 3 (2021)]	[R 4 (2022)]	
⑭県内で排出された産業廃棄物の最終処分量(千t)	87 [H30(2018)]	86	85	85	84
		[R 2 (2020)]	[R 3 (2021)]	[R 4 (2022)]	
		87	88	84	
		[R 2 (2020)]	[R 3 (2021)]	[R 4 (2022)]	
		▲	▲	◎	

※ 表中の設定値及び年度目標値/実績値の[ ]内はその数値の年度データである。

(注)は令和5(2023)年10月に「栃木県生活排水処理構想(令和5(2023)年3月改定)」の改定内容と整合を図るため、目標値の見直しを行ったものである。

#### 【目標が達成できなかった指標】

##### ⑩公共用水域の環境基準(BOD)達成率(%) 【R 5 目標値】100 → 【R 5 実績】98

<現状・要因>

- ・ 県内河川の66観測地点のうち1地点で環境基準を超過した。
- ・ 当該1地点は、市街地からの生活排水等の影響を多く受ける河川にあるためBOD値は日常的に高く、特に渇水期に基準を超過する傾向がある。
- ・ 今回の要因は特定できないが、採水時の河川流量や直前の降水量などが影響した可能性が考えられる。

<対策>

- ・ 生活排水対策として、下水道の整備促進や合併浄化槽の設置促進
- ・ 工場・事業場排水対策として、立入検査による排水処理施設の維持管理の指導、水質検査の実施など

##### ⑫県民1人1日当たりの生活系一般廃棄物の排出量(g) 【R 4 目標値】657 → 【R 4 実績】664

<現状・要因>

- ・ 在宅時間の減少等で前年度と比べ改善(減少)したものの、目標値には届かなかった。

<対策>

- ・ 市町に「ごみ袋有料化による削減効果」を示すなど、ごみ削減の取組の働きかけ
- ・ 県民に向けた食品ロス削減意識醸成の取組など、可燃ごみの排出削減の推進

**⑬県内で排出された一般廃棄物の最終処分量（千t）【R 4 目標値】 54 → 【R 4 実績】 63**

＜現状・要因＞

- ・一般廃棄物の排出量は前年度と比べ減少しているが、焼却残渣が従来より増加したことにより、目標値には届かなかった。
- ・一部の焼却施設においては焼却残渣を熔融スラグ化し、再生利用を行っているが、スラグ化処理可能な焼却施設が火災の影響により、一時受入停止したことが、焼却残渣増加の要因と考えられる。

＜対策＞

- ・市町等に対する研修会等を通じて、ごみの排出抑制及び資源ごみの分別推進の啓発と機運醸成を支援

## 4 人と自然が共生する「とちぎ」

指標項目	設定値 R 1 (2019)	年度目標値/実績値/達成状況			目標値 R 7 (2025)
		R 3 (2021)	R 4 (2022)	R 5 (2023)	
⑮造林面積 (ha/年)	408	500	575	650	700
		387	431	528	
		▲	△	△	
⑯自然公園入込数 (千人)	22, 795	24, 200	24, 400	24, 600	25, 000
		15, 378	16, 852	17, 614	
		▲	△	△	
⑰野生獣による林業被害額 (億円)	1. 35	1. 27	1. 23	1. 18	1. 10
		1. 50	1. 81	2. 30	
		▲	▲	▲	

【目標が達成できなかった指標】

**⑮造林面積 (ha/年) 【R 5 目標値】 650 → 【R 5 実績】 528**

＜現状・要因＞

- ・前年度と比べて改善（増加）したものの、目標値には届かなかった。
- ・限られた労働力の中で、森林の維持管理のための間伐作業や木材生産のための伐採及び造林（植栽、下草刈り等）を一体的に進め、かつ、年々取組を加速している。

＜対策＞

- ・R 6 開校の林業大学校を中核とした新たな林業人材の確保育成
- ・I C T等の先端技術を活用したスマート林業の推進による作業の効率化・生産性の向上

**⑯自然公園入込数 (千人) 【R 5 目標値】 24, 600 → 【R 5 実績】 17, 614**

＜現状・要因＞

- ・前年度と比べて改善（増加）したものの、目標値には届かなかった。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大で大きく落ち込んだ入込数は、回復基調は見られるものの、感染拡大前の水準に達していない。

＜対策＞

- ・国内外からの誘客促進のため、国立公園満喫プロジェクト「ステップアッププログラム2025」の取組を、国や市、地元関係団体などと連携して積極的に推進

**⑰野生獣による林業被害額（億円）【R5目標値】1.18 →【R5実績】2.30**

＜現状・課題＞

- ・前年度と比べ、被害面積は横ばいであったものの、被害額は悪化（増加）した。
- ・植栽直後の苗木などに加え、利用期を迎えた市場価値の高い樹木がシカ等の食害にあったことが主な原因

＜対策＞

- ・栃木県ニホンジカ管理計画に基づき、
  - \*市町等が行う、有害捕獲や個体数調整の取組への支援
  - \*林業経営者が行う、造林地における忌避剤の散布や獣害防止チューブの設置、壮齢木への獣害防止ネット巻き等の推奨と支援 など